

Fly High

大志をいだけ！

国立市立国立第八小学校 研究便り

校長 牧野 陽一郎

No. 5 平成29年10月16日

国立第八小学校 研究部

『Fly High 大志をいだけ！』は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をお知らせしていきます。今回は、第4回の研究授業の様子をお知らせします。研究授業は保護者の方にも公開しています。一生懸命活動している子供たちの姿をぜひご覧ください。

2年生 『うごく うごくわたしのおもちゃ』

9月21日(木)

生活科の授業で、身近な材料を使ったおもちゃを作りました。1組は「ぴょんうさぎ」、2組は「ヨットカー」を作りました。「ぴょんうさぎ」は、もっと遠くに跳ばしたい、その為にはどうしたら良いかなと考え、2つ目を作りました。ゴムの本数を増やす、紙コップを軽くするなど、自分で試行錯誤したり、友達に教わったりしながら作り、遊びました。床の目印を見ながら、自分が作ったぴょんうさぎに満足していました。「ヨットカー」は、もっとよく走る、長い距離を走る物を作ろうと、改良の方法を考えました。サーキュレーターの風がよく当たるように、帆の大きさを変えてみよう、帆の角度を変えてみよう、一人一人が考えて作りました。完成すると床で友達と競走しましたが、同じ願いをもっている友達の様子を見て、うまくいっている方法を試してみる子もいました。

皆、集中して作って遊ぶ姿が印象的でした。



研究授業の見どころ

さくら学級『車を動かそう』

10月18日(水) 午後1:15～

さくら学級では、車を動かす遊びの中から問題を作り解決するという学習を行います。児童自らがやってみたいという思いや願いから問題を作ることで、活動に必然性をもたせ、自分なりの考えで「こうしたい」「ここをかえたい」と考えて活動することで、より主体的に学習できると考えています。仮説を考える場面では、自分の考えを表現できたことを認めたり、一人一人の児童に合わせたヒントカードを用いたりすることで、自信をもって活動に取り組めるようにしています。

研究授業では、車を動かす遊びを通して「手で押さなくても車を動かせる方法を考える」という活動を行う予定です。児童それぞれが自由に発想をして、自分なりの考えで車を動かす方法を考えているか、本時の見どころです。